美援會、省政府、臺糖公司
肥料契約正式に調印
重點は有効的施肥と換肥手續簡素化

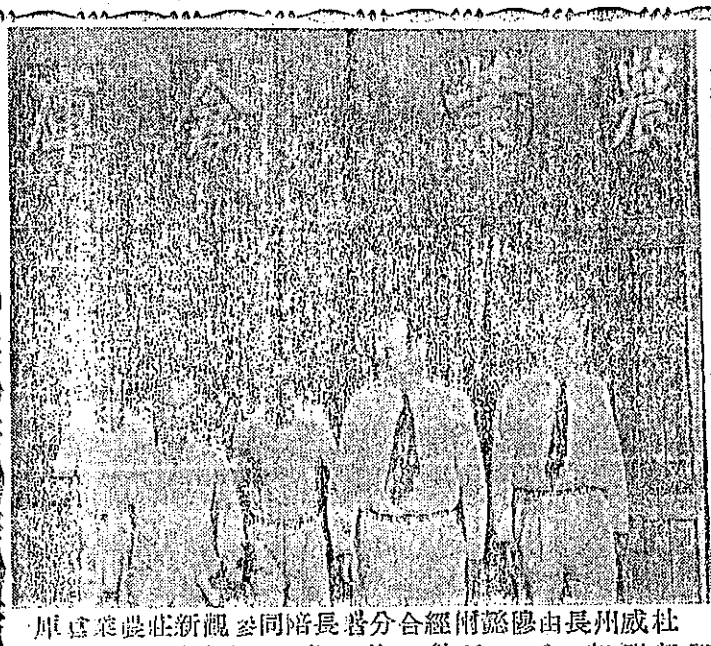
臺灣の農作物に必要な化學肥料の供給並びに分配に關する契約の調印式が去る七月十一日午後四時米國經合總署中國分署（臺北市）の會議室に於て行はれた。行政院美援運用委員會副秘書長王蓋、省主席吳國楨、臺糖公司協理劉鍾芝、中央信託局長尹仲容が調印に參加し、糧食局長李連春、農復會食糧肥料代組長フイピンが立會人となり、經合分署長モイヤーも參列した。今度調印した新契約は本省の從來の肥料配給政策に改善を加へた點が多く、特に施肥の時期に間に合ふやうにする事と、農民の肥料交換手續の簡素化に重點を置いて居る。

新契約は調印の日から效力を生じ、有效期間は一九五二年（來年）十二月三十一日迄で、この期間中本省の各期に於ける各種農作物に必要なあらゆる肥料の分配については、すべて新契約の中に含まれて居る。從來の古い契約の如く僅かに省政府と經合署の輸入した稻作用肥料のみにつき、一期ごとに分配方法を協議する條項に比べて、更に詳細に規定されて居る。但し「農民の利益保障」の原則の下に新契約には肥料配給手續についても又詳細な規定がある。

新契約の中には農民に關心の深い肥料、貸付制限についても相當の緩和が見られ、今後農民は農復會の審査を待たずに自由に報と交換で肥料を貰ふか、又は料肥を貸付けて貰ふかを選擇する事が出來る。新しい規定によれば肥料貸付利息は僅かに百分の三で、返濟期も今年の十二月末日迄、又は收穫後二週間の間と延長されて居る。又從來の利息は月利計算で稍高かつた。

肥料の適時配給を計る爲、今年の第二期作は必ず九月十五日前か、或ひは田植後六十日以内に配給されるやうに規定されて居る。又新規定では配給して餘つた肥料は全部農復會で次期の配給迄保管し、農民が施肥の時期を失したために肥料が無駄になる事を防ぐ事になつて居る。農會の肥料配給取扱の報酬も新契約によつて保障され、農會はより合理的な補助費を受ける外、その配給手數料は最少限度肥料交換で得た糶代金の百分の三・五に引上げられ、又肥料貸付手續の簡素化は今後面倒な肥料配給工作を幾分なりとも樂になる。

デ紐約州長來臺
臺灣農業の發展振りを稱讃



米國ニューヨーク州州長（知事）デューイ氏は、七月十四日午後飛行機で東京から臺北に着いた。翌日十五日から蔣總統夫婦に拜謁し、引續き政府各長官を訪問する外、又蔣總統や陳行政院長、吳省主席、立法、監察兩院等の歡迎會に臨んだ。十七日には經合分署長モイヤー博士、農復會食料肥料組總長杜威、州長陪同の農復會分會長陳誠、同經合分署長ロバーツ、同農林廳長新莊、桃園等の農村を視察し、農會や農家を親しく訪問した。臺灣の農村に關し次の如くデューイ氏は感想を語つた。

「臺灣の農民は活潑、素樸、そして勤勉で非常に印象が良かつた。私は臺灣農業の前途は洋々たるもので、寶島であり又生産の基地であると思ふ」。十七日の午後、陸軍總司令孫立人將軍に伴はれて基地に於ける我が陸軍の猛訓練を參觀し、自由中國國軍の進歩ぶりを稱讃した。十八日正午、飛行機に乘つて臺灣を離れ、一路フイリッピンに向つた。

デューイ知事は當年四十九歲、美國ミシガン大學文學士及びコロムビア大學法學士で、辯護士、「特別檢察官」などを歷任して、一九四二年ニューヨーク州長に當選してからその後も引續き當選し今日に至つて居る。デューイ州長はアメリカのすぐれた政治家で、出發前記者團と會見し、臺灣訪問に關する感想を發表した。

付配料肥無本萬三百苗茶
指目して茶園4萬2千ヘクタール

農林廳では本省茶業の發展を期して今年から茶園の面積を四萬二千ヘクタールに擴大し、粗製茶の生産量も一千四百十六萬キロに目標をおいて居る。農復會はこれに對して援助資金を振りあてる事を決定し、農林廳と共同して優良茶苗三百萬株を栽培し、同廳から各茶農に無料で配給する事になつて居る。又土壤改良のため農復會の資金援助の下にルビン綠肥の種子五萬キロを購入しそのうちに茶農に無料配給する計劃である。

肥料二期作に顯著な成績
試驗的造製で本省本格的熔磷肥

熔磷肥は一種の新しい肥料で、農復會ではこれが臺灣の土壤と作物に適するかどうかを各地の三十二箇所に於る農業試驗場に試驗を依頼して居つたが、九個月間の試驗を經てこの程成果が分つた。それに依ると熔磷肥は過磷酸石灰と同じ樣に肥料として非常に優秀で、殊に酸性の土壤に對する反應は過磷酸石灰に優ることである。又試驗の結果によれば熔磷肥の效用は作物の種類によつて異り、即ち（一）豆科の綠肥作物に施した場合は平均百分の三十乃至六十。（二）大菜、大根は百分の十以上。（三）小麥は約百分の三十の增産になる。（四）甘藷、煙草、キャベツに對しては效果が無い。（五）大菜以外の作物に對しては熔磷肥の方が過磷酸石灰より效果が優つて居り、特に豆科の作物にとつては熔磷肥はおよそ過磷酸石灰の倍ぐらいの効果がある。

熔磷肥の素晴しい成果がこの樣に證明されたので、臺灣肥料公司では羅東工場に於いて年産一萬噸の目標で大量製造の計劃を進めて居る。

注意
うつかり植えるな　濫りに燒拂ふな

本省各地の香茅草の栽培面積は日增しに增加しつゝあり、ある所では折角の茶園や煙草畑を潰してまで香茅草を植えてゐるやうな狀態である。然し注意してほしい事は香茅草を栽培すると非常に地力を消耗して土地が痩せる事

總計三、三四一、二〇〇弗
一年來の臺灣農村美援金

農復會が去年七月一日から今年六月三十日迄（一九五一會計年度）に本省の農村復興計劃に割りあてた金額は總額米ドル三百三十四萬一千二百三十七弗九十四セントに達して居り、未完成の部分はこれを一九五二會計年度に於いて續行される。上記各種農村復興經費のうち、農業改善計劃に最も多く費し、次に水利灌漑、鄉村衞生、畜産、土地改革、農業組織、農村經濟、宣傳、肥料供給及び其他の順である。因みに同會では一昨年（一九四九年）七月、臺灣で農村復興工作を開始して以來本年六月三十日迄に、各種の農業計劃資金として五百十八萬五千七百八十弗十九セントを許可して居るが、支出された金額は四百〇一萬八千六百八十二弗七十二セントに達して居る。

一、期作は豐收だ
七十六萬噸の見込み

本年度第一期作稻の刈入れは大方終り、臺北以南は十月に刈入れ始みで、中北部も八月上旬頃までには全部完了の見込みである。第一期作は部分的に倒伏病や黃甲蟲の被害があつたが、天候が順調であつた爲、この分なら預定量の七十六萬噸に達するものと見られる。

景氣の好い鳳梨罐詰
外貨獲得百萬弗の見込み

鳳梨會社の去年度オンライ罐詰の製産高は九萬箱に過ぎなかつたが、本年度は三十萬箱に達するものと豫想されて居る。この三十萬箱は概に全部アメリカ及び日本から契約濟みで、將來百餘萬ドルの外貨をもたらすものである。

山地增産に補助金
堆肥舍建築と脫穀機買入れに

農復會ではこのほど臺東山地同胞の增産と生活安定を計る爲め、新台幣一三、二五〇元を補助した。

この援助資金で堆肥舍六一三棟を建てる外、脫穀機十二臺、甘藷切片機二十五臺を購入する事になつて居る。

第一期作好收成

日本より教授招聘
牧畜獸醫人員講習班始まる

農復會の委託をうけて臺灣大學では畜牧獸醫人員暑期訓練班を設け、去る七月十六日から臺大農場で講習を開始した。期間は二箇月で、講習生二十五人。農復會が日本からわざわざ招聘して來た廣島大學畜牧水産學教授山根義信、北海道大學畜牧獸醫學教授山極三郎兩博士の外に、臺大の各教授が講義に當つて居る。

アメリカの罐詰が好き
筍罐詰は

筍罐詰はもともとアメリカ在留華僑の愛好物で、本省では昨年度一千餘箱を同地に輸出した。本年度は八千四百箱を生産する豫定で、新竹、彰化、二水にある三工場で製造することになつて居る。アメリカでは本省製筍罐詰は日本品に比べて値段が少し高いが、品質が良いので一般の人々に歡迎されて居る。

全層施肥
三割に正に量産增

從來の舊式な施肥の方法によると使用肥料一百斤につき實際に稻に吸收される分は約四十斤に過ぎず、あとの六十斤は水と一しよに流れてしまふ。農林廳ではこのため本年度の施肥の方法の試驗的實施を極力推奨中のところ、此の程相當の成績をあげた。今年臺北區農業改良場が北投の篤農家陳興田の所有地に作つた「全層施肥試驗地」の結果は良好で稻の收穫は三割もの增收である。もし全省の耕作地に全部「全層施肥」法を採用したら米穀の年産量は一百八十萬噸以上に達するわけだ。